

# 技術文書審議タスクの 活動状況

令和6年12月20日

# 技術文書審議の経緯

## ■令和6年8月29日：技術文書の標準化に関する規則の制定

- 成果報告書の作成等と標準化に関わる運営内規 制定
- 技術文書審議タスクの設置・運営に関する内規
- 技術多様化・普及タスクの設置・運営に関する内規

## ■審議対象の技術文書の作成小委員会(設置期間)/技術文書の分類

- 基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会(令和3年10月～令和6年3月)/技術資料 (試行/終了)
- 地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会(令和4年5月～令和7年3月)/規格・指針 (試行中)
- 津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化WG(令和4年10月から令和9年3月)/技術資料

基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会  
審議タスク/審議の状況

# 技術文書審議タスクメンバー

	委員会	タスク	主担当	氏名	所属/役職
1	顧問	主査	液状化	風間基樹	東北大学大学院/教授
2	委員	副査	断層変位	糸井達哉	東京大学大学院/准教授
3	顧問		断層変位	香川敬生	鳥取大学大学院/教授
4	顧問		液状化	仙頭紀明	日本大学工学部/教授
5	顧問		断層変位	竿本英貴	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 活断層・ 火山研究部門/主任研究員
6	顧問		液状化	大矢陽介	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 上席研究官
7	顧問		原子力土木	西好一	電力中央研究所 名誉特別顧問

## ■ オブザーバー

- 澤田昌孝 電力中央研究所 上席研究員(基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会幹事長)
- 石丸真 電力中央研究所 主任研究員(基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会幹事)
- 中村晋 日本大学工学部 上席研究員(原子力土木委員会 委員長)

# 技術文書の審議過程

## ■基本方針段階

- 2023年1月23日：第1回技術文書審議タスクの実施
- 2023年3月23日：第3回原子力土木委員会(オンライン開催)へ審議結果の報告し、技術文書の作成を進めることを承認

## ■最終段階の審議(技術文書原案への対応)

- 2023年12月15日：技術文書審議タスクへ技術文書原案，評価・意見記入シートを送付
- 2024年1月19日：第2回技術文書審議タスクの実施
- 2024年2月9日：第3回原子力土木委員会へ審議結果の報告[2024年2月11日：原子力土木委員会の委員に向けて技術文書原案の総合評価を依頼(メール)].
- 2024年2月19日：原子力土木委員会の総合評価結果の報告と小委員会へタスクの意見送付(メール).
- 2024年3月26日：「基礎地盤の変形評価に関する研究小委員会」から技術資料原案の修正案提出,タスクの確認(4月2日までに).
- 2024年4月3日：原子力土木委員会へ，技術文書修正版を委員会原案とすることの確認

## ■外部意見照会

- 2024年4月15日：技術文書原案の修正案を，原子力土木委員会原案の技術文書を外部意見照会を行うことを通知
- 2024年4月25日：土木学会内の地震工学委員会，地盤工学委員会，岩盤力学委員会を対象に5月27日を期限に外部意見照会を技術文書審議タスク(幹事団の支援)より実施.
- 2024年7月8日：外部意見照会結果を原子力土木委員会委員会に報告（外部意見への対応として技術資料の校正を小委員会で実施: 2024年6～9月)
- 2024年10月3日：技術資料の講習会開催(土木学会講堂+オンライン)

# 地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会 審議タスク/審議の状況

# 技術文書審議タスクメンバー

委員会	タスク	主担当	氏名	所属/役職
1	顧問	主査	丸山久一	長岡技術科学大学/名誉教授
2	顧問	副査	酒井久和	法政大学/教授
3	顧問		石橋忠良	JR東日本コンサルタンツ(株)/技術統括
4	顧問		一井康二	関西大学/教授
5	顧問		坂井公俊	公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道 地震工学研究センター/主任研究員
6	顧問		上田恭平	京都大学防災研究所/准教授

## ■オブザーバー

- ・ 河井 正 東北工業大学 教授(地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会幹事長)
- ・ 山口和英 電力中央研究所 主任研究員(地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会幹事)
- ・ 宮川義範 電力中央研究所 主任研究員(地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会幹事)
- ・ 中村 晋 日本大学工学部 上席研究員(原子力土木委員会 委員長)

\*「地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会」は2022年5月20日の委員会にて設置が認められ、調査研究活動を実施しているため、試行として実施。

# 技術文書の審議過程

## ■ 基本方針段階の審議

- 2023年5月19日：第1回技術文書審議タスクによる技術資料の審議を実施

## ■ 中間段階の審議

- 2023年6月20日：第2回技術文書審議タスクを第1回技術文書審議タスクに追加し、技術資料の審議を実施(第1回、第2回技術文書審議タスクを基本方針段階と中間段階を合わせた審議とすることとした)
- 2023年7月31日：第3回原子力土木委員会へ審議結果の報告[委員会の意見照会を1週間実施し、委員会の意見と合わせて技術文書審議タスクの評価・意見シートを小委員会に送付]
- 2024年7月29日：第3回技術文書審議タスクを第1回、第2回の中間報告段階の審議に追加し、技術資料の審議を実施。
  - 2024年9月19日：原子力土木委員会の委員に向け、中間報告段階の評価案の妥当性確認依頼(メール)。
  - 2024年10月16日：メール審議結果を原子力土木委員会の委員に通知。技術文書審議タスクの中間報告段階の評価は妥当であると報告。
  - 2024年10月17日：小委員会の河井幹事長に技術文書の修正依頼。

## ■ 最終段階の審議

- **2024年12月26日**：第4回技術文書審議タスクを実施し、技術文書の妥当性評価と意見集約(2024年11月27日技術文書原案の送付(原子力土木委員会にも合わせて送付))
- **2025年1月10日**：原子力土木委員会(オンライン開催)へ最終段階の審議結果の報告,24日までに委員会の評価を集約し、25日に妥当性の確認を実施し、委員会に報告。小委員会に委員会の技術文書原案に対する評価結果および評価・意見シートの報告。
  - 小委員会は技術文書審議タスクおよび委員会の意見へ対応し、技術文書審議タスク幹事より委員会へ報告し、委員会の承認を得る。
- 一ヶ月間の**外部意見照会**及び**公衆審査**を同時に実施し、意見などへ対応した結果を委員会に報告し、委員会の承認を得る。

津波評価小委員会  
津波漂流物の影響評価技術の体系化WG  
審議審議タスク/審議の状況

# 技術文書審議タスクメンバー

	委員会	タスク	氏名	所属/役職
1	顧問	主査	水谷法美	名古屋大学/教授・副総長
2	委員	副査	庄司 学	筑波大学/教授
3	顧問		奥田泰雄	(国研)建築研究所/シニアフェロー
4	顧問		池谷 毅	東京海洋大学/教授
5	委員/幹事		佐藤 清	(株)大林組 原子力本部/統括部長

## ■ オブザーバー

- 甲斐田秀樹 電力中央研究所 主任研究員(津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化WG幹事)
- 木原 直人 電力中央研究所 主任研究員(津波評価小委員会幹事長)
- 富田孝史 名古屋大学 教授(津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化WG主査)
- 加藤勝秀, 永松直樹, 鈴木和磨 中部電力(津波評価小委員会 津波漂流物の影響評価技術の体系化WG幹事)
- 篠田昌弘 防衛大学校 教授(原子力土木委員会 委員兼担当幹事)
- 中村 晋 日本大学工学部 上席研究員(原子力土木委員会 委員長)
- (中島正人幹事長, 中村武史幹事)

\* 「津波評価小委員会津波漂流物の影響評価技術の体系化WG」は2022年8月29日の委員会にて設置が認められ、調査研究活動を実施しているため、試行として実施。

# 技術文書の審議過程

## ■事前説明会

- 2023年8月29日：技術文書の審議手順の事前説明

## ■基本方針段階

- 2023年10月18日：第1回技術文書審議タスクによる技術資料の審議を実施
- 2023年12月15日：第2回原子力土木委員会へ審議結果の報告[[委員会の意見照会を1週間実施]
- 2023年12月22日：第3回原子力土木委員会(オンライン)にて委員会の意見の報告と合わせて技術文書審議タスクの評価・意見シートを小委員会に報告することを承認]

## ■最終段階(予定)

- 2025年7月：技術文書審議タスクへ技術文書原案，評価・意見記入シートを送付
- 2025年8月：第2回技術文書審議タスクによる技術資料の審議を実施